

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年2月7日作成)

小委員会名	文化的生態的景観小委員会	主査名：不破 正仁 就任年月：2022年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：神吉紀世子
設置期間	2022年4月 ～ 2026年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>農山漁村のうち、とくに特産品を有する地区の景観構成要素の実態を把握し、生産域とその景観との相関性を考察する。そのうえで、次世代へ伝える景観資源とはなにかを議論するために、持続可能な生業の仕組みと景観資源の相関性について、「動植物の生息域」「担い手」「ツーリズムなど」の観点から明らかにする。</p> <p>初年度：各地の景観特性を再整理するためのアーカイブを整理する。 2年度：具体の事例採集活動を実施する。 3年度：現地踏査を行い、事例採集を継続する。 4年度：各地の事例を一つにまとめ、研究集会などを活用し、広く周知する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：不破正仁（東北工業大学） 幹事：小山雄資（鹿児島大学）、山本幸子（筑波大学） 委員：牛島 朗（山口大学）、金子晋也（札幌市立大学）、濱 定史（山形大学）、 青柳由佳（東京家政学院大学）、釜床美也子（香川大学）、姫野由香（大分大学）、 今村洋一（相山女学園大学）	
設置WG (WG名：目的)		
2023年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 委員（研究者）の所在地が全国に広がる中で、オンライン会議システムを活用することにより効果的に定期的に研究会を企画・実施。 2. これまでに、各委員からの各種研究資金の捻出により、2度のフィールド研究会を企画・実施。新たな研究活動・地域活動の場を発見することができた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 研究予算の確保、とくにフィールド研究会開催予算の確保。 2. 研究公開（HP・SNSなどでの発信）については、各委員のSNSで情報公開を実施したが、委員会公式SNSなどの整備はできておらず、継続して小委員会活動を実施する中で検討する必要がある。